



双塔

カトリック新潟教会

2026年7月
No. 457

教皇レオ 13 世 と 教皇レオ 14 世

主任司祭 田中 丈夫

教皇レオ 14 世は 2026 年 5 月 25 日、最初の回勅『マニフィカ・フマニタス』を発表した。回勅のテーマは人工知能の時代における人間の人格の保護。バチカンニュースは「回勅『レールム・ノヴァールム』135 周年の記念において、レオ 14 世は人工知能時代の教会の社会教説について考察。真理、労働の尊厳、社会正義、そして平和を推進しつつ、『神が生きておられる素晴らしい人類』を守るようにと呼びかける。デジタル時代において、対話と多国間主義を改めて重視しながら、AI を武装解除し、「正戦論」を克服する必要があるを説いている。」と伝えた。

『レールム・ノヴァールム』は 1891 年に教皇レオ 13 世が發布した回勅である。新教皇はレオ 14 世と名乗ったが、そこには教皇レオ 13 世の精神を受け継ぐという意図があったという。レオ 13 世の精神とはどのようなものか。山本芳久著「ローマ教皇－伝統と革新のダイナミズム－」から抜粋し (p129~p132)、以下に記す。

《レオ 14 世は、教皇に選出された二日後に枢機卿団に対する演説の中でつぎのように述べている。「(レオ 14 世という教皇名を選んだことには)様々な理由がありますが、主な理由は、教皇レオ 13 世が歴史的な回勅『レールム・ノヴァールム』において、最初の大産業革命の文脈で社会問題に取り組んだからです。我々の時代においては、別の産業革命と、人間の尊重や正義や労働の擁護にとっての新たな挑戦を提示している人工知能の分野における発展に応答して、教会は自らの社会教説の宝を全ての人々に提供しているのです。」》《教皇レオ 13 世(教皇在位 1878~1903)は「社会回勅」の生みの親として知られる。「回勅」とは、信仰や倫理に関して指針を与えるために教皇が全カトリック教会に向けて送付する公式書簡のことである。レオ 13 世までは、「回勅」は、あくまでもカトリック教会に属する人々に向けて、キリスト教に関わる重要なメッセージを伝えるものという色彩が強かった。それに対して、レオ 13 世は、産業革命を背景とした資本主義の発展の中で劣悪な境遇に陥っている世界中の労働者の苦境に直面し、キリスト教固有のメッセージというよりは、労働者の権利を擁護するための普遍的なメッセージを「社会回勅」という仕方で発したのである。『レールム・ノヴァールム』というラテン語は「新しいことがら」という意味である。産業革命を背景とした資本主義の発展という「新しいことがら」に社会正義の観点から応答しようとしたレオ 13 世の精神を引き継ぎつつ、レオ 14 世は、21 世紀の「新しいことがら」に、同様の精神に基づいて対応しようとしているのである。》《この回勅は、歴代教皇の回勅の中でも最も重要な回勅の一つとして持続的に参照され続けられてきたもののなのである。》《節目ごとに『レールム・ノヴァールム』は参照され、その根本精神が継承されつつ、その根本精神に照らし合わせながら、それぞれの時代状況の分析がそれぞれの教皇によってなされてきたのである。》

昨今、サグラダ・ファミリアのイエスの塔が完成したことが話題になっている。6 月 10 日に放映された NHK クローズアップ現代「サグラダ・ファミリア“完成”へ 祈り、世紀を越えて」では「サグラダ・ファミリアが着工した 19 世紀後半、ヨーロッパでは産業革命が進み貧富の差が拡大していた。ガウディは救いを求める人たちの力になりたいと建設に取り組んだ。」と伝えていた。教皇レオ 13 世とガウディの眼差しは同じ人々に向けられていたということであろう。着工から今年で 144 年。サグラダ・ファミリアは、今や、あらゆる境界を越えて、訪れる人々の癒やしの場、救いの場となっている。

150 年前、日本では欧化主義のもと近代化が進んだ。当時、日本の社会で活動する宣教師たち、修道女たちが目にしていたのは、19 世紀後半のヨーロッパでガウディと教皇レオ 13 世が目にしていた社会の状況と相通じる光景ではなかろうか。「明治前期のカトリック教会がなによりも力点を置いたのは、近代化によって苦しむ人々に手を差し伸べることでした」(三好千春著『時の階段を下りながら』p51)。

今年、カトリック新潟教会は創立 150 周年を祝う。この時に、歴代教皇によって継承されてきた『レールム・ノヴァールム』の根本精神を、最新の回勅『マニフィカ・フマニタス』を通して汲み取り、分かち合う。現代社会に生きるわたしたち信仰者が求められていることのように思える。

インフォメーション!

●信徒のみなさんへの「お知らせ」の方法について（小教区評議会）

- ①センター掲示板おしらせに掲載しています（外壁ガラス掲示板）のでご覧ください。
- ②「おしらせ」のある方は、9時半主日ミサでのお知らせと掲示板の貼り出し、月刊双塔への掲載をお願いします。（広報部アドレス：soutoul656@gmail.com）

●入門講座 主任司祭 田中神父にご相談ください。

●聖書勉強会

日時 毎週水曜日 午前10時～ **会場** センター研究室 **指導** 田中神父

●信仰養成講座

日時 毎月第2土曜日 午前10時～ **会場** センター研究室 **指導** 町田神父
※新約・旧約聖書を使います。各自ご持参ください。

●月曜会（秋田の聖母を通して祈る会：野村）

成井司教のミサとロザリオの祈り（どなたでも、ミサのみ参加も可）

今後の予定 7月13日(月)、9月28日(月)

時間 午前11時～ **指導** 成井司教 **会場** 新潟教会聖堂

※聖堂修繕工事期間中につき、自家用車等で来場の際の駐車については、現場の指示に従ってください。

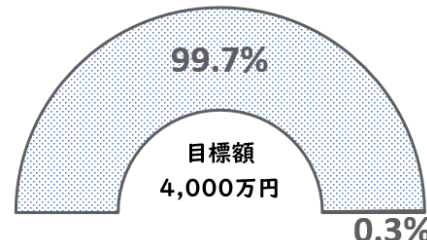
●教会維持費などの献金について（小教区評議会）

献金袋が無い方は、聖堂維持費棚の右下に袋があります。各自でご記入の上、日曜日に中央柱の維持費入に入れてください。

●聖堂修繕工事のための特別献金のこと（小教区評議会）

聖堂修繕工事のための特別献金 目標額 4,000万円

★2026年5月31日現在 累計額 3,990万円(進捗率：99.7%)
(1万円以下四捨五入)



●「信仰の恵みと喜びの祝年」記念講演会

新潟教会誕生150年と現聖堂100周年を記念した「信仰の恵みと喜びの祝年」の開始に先立ち、記念講演会を開催いたします。

日時 7月5日(日) 9時半ミサ後

会場 新潟教会カトリックセンターホール（ミサ会場）

講師 Sr.三好千春氏（南山大学人文学部教授）

●建設・記念事業に関する報告について（2026年中間報告）

2月の小教区総会後に評議会で議決され主任司祭から承認された事項について、6月14日に報告会が行われました。資料が聖堂に置いてありますのでお持ち帰りください。
(ホームページにも掲載されています)

●共同納骨墓祝別式（寺尾）

5月11日からカトリック共同墓地(寺尾)の共同納骨墓改修工事が行われていましたが、この度完成し、6月7日に「共同納骨墓祝別式」が行われました。（墓地委員会）

●双塔「王であるキリスト号」への原稿を募集します（広報部）

11月22日に発行する双塔への原稿をお寄せください。聖堂後方の募集箱またはメールでも受付します。400字×5枚以内（2,000字以内）をお願いします。短くても大丈夫です。

メールアドレス：soutoul656@gmail.com 締切：10月4日(日)

2026 年 7 月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等、教会の行事
3 日(金)	聖トマス使徒（祝） ・ミサ 10:00（初金）
5 日(日)	年間第 14 主日 ・ Sr.三好千春氏による記念講演会（9:30 ミサ後カトリックセンター） ・ 英語ミサ（13:00）・清掃日（センター、外のトイレ：英語ミサ後）
11 日(土)	・ 信仰養成講座（10:00 研究室／指導：町田神父）
12 日(日)	年間第 15 主日 ・小教区評議会（9:30 ミサ後 研究室）
18 日(土)	・ 教区青少年委員会「夏のファミリー合宿」（～19 日(日) 赤倉山荘）
19 日(日)	年間第 16 主日 ・清掃日（聖堂、外のトイレ、センター：9:30 ミサ後） ・ 国際協力部会（清掃後 研究室） ・ 広報部会（清掃後 事務室） ・ 総務部会（清掃後 談話室） ・ ベトナム語ミサ（12:00）
20 日(月)	・ 下越地区協議会（10:00 カトリックセンター）
22 日(水)	聖マリア（マグダラの）（祝）
25 日(土)	聖ヤコブ使徒（祝）
26 日(日)	年間第 17 主日 ・ 教会維持費の整理（9:30 ミサ後 事務室）

※ ミサ時間

日曜日（7:00、9:30） 英語ミサ（今月は第 1 日曜 13:00、通常は 12:00）

ベトナム語ミサ（第 3 日曜 12:00）

火曜～木曜、土曜（7:00） 金曜（10:00）

★朝ミサ 7:00 は休止になることもあります。ご確認の上ご参加ください。

※ 聖堂開堂時間

毎日 9:00～18:00（都合により左記時間に変更となる場合がございます）

月刊「双塔」毎月 1 回 最終日曜日発行 編集・発行/カトリック新潟教会 小教区評議会 広報部

カトリック新潟教会 〒951-8106 新潟市中央区東大畑通一番町 656

<https://cathedral-niigata.jp/> TEL025-222-5024 /FAX025-222-5054

